日本の作曲家2026

第1夜 2026年 10月22日(木)

19：00 開演(開場 18：30)

弦楽の水平軸

第2夜 2026年 10月23日(金)

19：00 開演(開場 18：30)

サクソフォンカルテットの新座標

Program(演奏順未定)　全曲委嘱作品

小栗 克裕

弦楽四重奏曲第4番

吉川 和夫

弦楽四重奏曲第2番

小坂 咲子

Butterfly Évantails for string quartet

豊住 竜志

「星霜ひびきうつし」…弦楽四重奏のための

中川 俊郎

弦楽四重奏曲

福田 陽

弦楽4重奏曲第6番

ヴァイオリン：亀井 庸州／加藤 綾子
ヴィオラ：迫田 圭
チェロ：北嶋 愛季

プロデューサー：菅野 由弘

遠藤 雅夫

くもりのち晴れII
サキソフォンカルテットのために

小林 由直

音の残像

鈴木 理恵子

三日月と星が織りなす
凍てつく夜空のランデヴー
――サックス・カルテットのための

松井 琉成

Twirling – in the One Ring -

松尾賢志郎

共感性羞恥四重奏曲

山本 準

不可逆性について
～サクソフォン4重奏のための

サクソフォン：
大石将紀、江川良子、冨岡祐子、田中拓也

プロデューサー：中川 俊郎

会場 **東京オペラシティリサイタルホール**

入場料〈全席自由・税込〉：一般 4,000円　学生 2,000円

［チケット］
- カンフェティチケットセンター
  www.confetti-web.com/
- 一般社団法人 日本作曲家協議会(JFC)
  www.jfcomposers.net

［主催］一般社団法人 日本作曲家協議会
［助成］一般社団法人 日本音楽著作権協会(JASRAC)
［後援］一般社団法人 日本音楽著作家団体協議会(FCA)

お問合せ　一般社団法人日本作曲家協議会　TEL：03-6276-1177　concert@jfc.gr.jp

第1夜 2026年10月22日 木

小栗 克裕

東京藝術大学作曲科卒業、同大学院修了。日本交響楽振興財団作曲賞、文化庁舞台芸術創作奨励賞、IMC国際作曲家会議入賞、ヒナステラ国際作曲コン第1位など、管弦楽作品において数々の受賞。ピティナ・ピアノコンペティション課題曲7曲、合唱作品やさまざまな楽器による編曲も数多く出版。日本作曲家協議会会員、ピティナ正会員。

吉川 和夫

作曲家。宮沢賢治作品をテキストとした合唱劇のほか、ヴァイオリンとピアノのためのソナタ風幻想曲"SANRIKU"など多数の室内楽曲を発表している。CDは「魂の行方」(フォンテック)など。東京藝術大学大学院修了。萩京子、寺嶋陸也と組む作曲家グループ「緋国民楽派」同人。宮城教育大学名誉教授。

小坂 咲子

東京藝術大学及び大学院修士・博士課程修了。アルヴァレズコンクール優勝、香港ハーモニカコンクール、ISCM、ACL入野記念賞等入選。作風は雅楽や戸外音に含まれる破擦音と、明瞭に聴き取ることの限界である特殊奏法を織り交ぜた書法によっている。篳篥協奏曲《華蝶乱》ブランデンブルク交響楽団再演、他作品は愛知室内オーケストラ、東京フィルハーモニー交響楽団、マルメ交響楽団、バーゼル室内管弦楽団等により演奏。

豊住 竜志

愛知県立芸術大学大学院修了。作曲を石井歓、兼田敏、岡坂慶紀の各氏に師事。2Agosto国際作曲コンクール第1位、日本音楽コンクール第3位などに入賞。2009年にテノールと合唱・管弦楽のための「Little Things」がボローニャ歌劇場管弦楽団・合唱団により初演、Rai3にて放送された。昭和音楽大学、東京工芸大学にて後進の指導にあたっており、作品はフォスターミュージックなどから出版されている。

中川 俊郎

作曲家、ピアニスト。桐朋学園大学作曲科卒業。作曲を三善晃に師事。<Music Today'82>10周年記念国際作曲コンクール第1位。1988年村松賞、2010年、サントリー芸術財団主催「作曲家の個展2009、中川俊郎」の成果に対して第28回中島健蔵音楽賞を受賞。CM音楽界においても受賞多数。フォンテックからCD管弦楽作品選集「沈黙の起源」をリリース。JSCM日本支部理事、JFC常務理事。

福田 陽

横浜生まれ。東京藝術大学音楽学部作曲科卒。作曲を故矢代秋雄、佐藤眞両氏に師事。現在は千葉市稲毛でStudio MASQUEを経営。作・編曲、録音エンジニア、音楽プロデューサーとして活躍中。日本作曲家協議会会員、日本現代音楽協会会員、日本・ロシア音楽家協会運営委員。
ブログ:https://masque-musik.tea-nifty.com/works/

第2夜 2026年10月23日 金

遠藤 雅夫

1947年東京生まれ。東京藝大大学院修了。日本音楽コンクール入選、音楽之友社作曲賞、文化庁舞台芸術創作奨励特別賞受賞。作品は国内外の音楽祭に招待されるなど数多く演奏されている。管弦楽作品、NHK委嘱による電子音楽作品、室内楽作品、ピアノ作品、歌曲、合唱曲をはじめとして作品多数。現在、日本作曲家協議会、日本現代音楽協会会員、越の風会友など。近年邦楽系作品が増えている。時々趣味のピアノを生かして舞台に上がっている。

小林 由直

作品はヨーロッパなど海外でも演奏され、多くの作品がトレケル社(ドイツ・ハンブルク)より出版されている。内科医でもあり、健康医学と音楽の両立を常に目指している。日本作曲家協議会の主催するコンサートにおいては、「アジア音楽祭 2022 in Kawasaki」「日本の作曲家2025」等で作品を発表。ピアノを針谷宏弥、作曲を田中照通に師事。日本作曲家協議会会員。三重大学保健管理センター教授。医学博士。

鈴木 理恵子

東京藝術大学音楽学部作曲科卒業および同大学院修士課程作曲専攻修了。作曲を尾高惇忠氏に師事。ピアノを西川秀人氏らに、ピアノ伴奏法をマインハルト・プリンツ、コンラート・リヒター両氏らに師事。合唱曲、オーケストラ曲など意欲的に作曲活動を行うかたわら伴奏ピアニストとしても定評がある。現在、混声合唱団 海音楽監督、大人のためのピアノ講座主宰、TJK音楽教室作曲講師、全日本ピアノ指導者協会指導会員。オーケストラ・プロジェクト会員。

松井 琉成

2000年東京生まれ。国立音楽大学作曲専修卒業。日本作曲家協議会会員。これまでに作曲を吉田峰明、菊池幸夫、川島素晴の各氏に師事。大学在学中の2023年に『交響詩《うつしがたり〈翠〉》』でNEW CLASSIC PROJECT作曲賞受賞。ほかに、福岡ジルベスターコンサート2024ファンファーレ(『fanfare FUKUOKA』)なども手掛けている。

松尾 賢志郎

第12回JFC作曲賞コンクール入選。第二回福島市古関裕而作曲コンクール第二位。アジア音楽祭2025 in KawasakiにてACL許常惠メモリアル賞受賞など。全音楽譜出版社、カワイ出版、ティーダ出版にて作編曲作品が多数出版されている。NEXT VIEW Labelsよりポストクラシカルのアーティストとしても活動中。#1日1曲毎日作曲チャレンジという約30秒〜1分の楽曲を作曲し、毎日投稿している。

山本 準

ピアノを飯田喬子、作曲を野田暉行に師事。テルミン奏者三毛子の伴奏者として活動中。2016年に「戦争が廊下の奥に立ってゐた−渡辺白泉の句による〜トランペット独奏のための」が曽我部清典氏により初演された。その後新作の発表が断続的に続いており、2023年には「ディナミカ・インプルシヴァ〜オーケストラのための」が初演され、また2024年第12回JFC作曲賞コンクールにて入選。日本作曲家協議会会員、日本音楽作家団体協議会(FCA)監事。